

もしも、大きな災害が起きたら…

12月10日6限に人権学習として、「もしも、大きな災害が起きたら、自分たちに何ができるか」考えました。避難所での生活をしなければならなくなった場合、「どんなことに困るのか」について意見を出し合いました。また、様々な立場の人が避難されている中で、お互いの人権を尊重するために、私たちにできることは何かについても考えました。

- ★ 普段とは違う環境で生活しなければならなくなった時、障がいのない人ももちろん不便だが、障がいのある人は自分たち以上に困ることが増えてしまうことが分かった。私たちにとっては小さな問題でも、障がいのある人にとっては大きな問題で命に関わってしまうこともあるので、自分のことばかりでなく、非常時だからこそ互いに助け合う必要があると思った。
- ★ 自分を基準として考えるのではなく、耳が聞こえない人もいれば目が見えない人もいるし、たくさんの方がいる場ではそういう人たちに気を配りながら、手助けし合えばいいなと思いました。自分の何げない言葉で障がいのある人を傷つけないように理解を深めたいなとも思いました。
- ★ 自分勝手に行動せず、その立場になって考え行動することが大切だと思いました。今日の学習を通して、避難所だけに限らず、障がいのある人たちへの配慮はもっとしないといけないと思いました。障がいのある人達が安心してすごせるように、私たちにもできることはしていきたいと思いました。

★ だれでも、避難所での生活には食べ物とか連絡方法などたくさんの不安感や焦りが出ると分かった。でも、障害のある人は、自分の言いたいことを伝えられなかったり、何が起こっているか分からないことがあったりと、もっともっと不安があると気づいた。私たちは、困っている人がいれば声をかけて、少しでも手助けできるように努力すること、もし、一人で対応できなければ周囲の人に頼ることが大切だと思った。避難所は知らない人がたくさん集まって、怖いかもしれないけれど、そこでいかに協力し合えるかが、重要なことだと思った。

★ 災害が発生したら、人はパニックになって、自分のことで精一杯になってしまうから、そんな時でも高齢者や手助けが必要な人を助けることができる人になりたいと思いました。もし、自分がそんなことになってしまった時に、人からきつく言われたら傷つくと思う。だから、もし自分がその立場になったことを考えて行動したい。

★ 今回の授業で、この世界にはいろんな事情を抱えた人がいるし、災害が起きたら誰だってパニックになると思うから、そんな時でも「自分ができること」を考えて、協力し合うことが大切なんだなと思いました。「障がいのこと分からないから」「知り合いとかがやってくれるだろう」とかじゃなくて、少しでも力になろうという気持ちと、それを行動にすることも大切なんだと思った。

災害はいつ、どこで起きるか分かりません。普段から、非常袋を用意したり、家族との約束事を決めるなど、いざという時の備えをしておきましょう。そして状況に応じて、自分の命を守る行動がとれる、そして、困難な状況になった時、周りの人々の様々な状況を見て、すべての人の気持ちを大切にしたい行動ができる人になってほしいと思います



★お知らせ★

国語TT（3階 2-1 教室横）で「校外学習」の写真の掲示をします！！

掲示：12月17日（金）～23日（木） 懇談の時間のみ掲示

販売：12月23日（金）8：00～8：25 3年生下足前
封筒とお金を持参してください。 ※封筒は事前に配布されます。

たくさん写真があるので、見に来てくださいね～♪